

## 福井県大野市におけるアカボシゴマダラの撮影記録

梅村信哉\*<sup>1</sup>・村上充伯

要旨：2024年7月31日に大野市大月でアカボシゴマダラの写真が撮影された。これは福井県内における本種の初記録であると思われる。

キーワード：アカボシゴマダラ, 福井県, 初記録

**Shinya UMEMURA\*<sup>1</sup>, Mitsunori MURAKAMI. 2025. A Photographic record of *Hestina assimilis* (Linnaeus) in Ono City, Fukui Prefecture. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 28:109-110.**

An individual of *Hestina assimilis* (Linnaeus) was photographed at Otsuki, Ono City, Fukui Prefecture on 31<sup>st</sup> July, 2024. This is thought to be the first record of this species in Fukui Prefecture.

**Key words:** *Hestina assimilis* (Linnaeus), Fukui Prefecture, first record

アカボシゴマダラ *Hestina assimilis* (Linnaeus) は、前翅長 40~53mm の大型のタテハチョウである。ベトナム北部~中国、朝鮮半島と済州島に名義タイプ亜種 *assimilis* が分布し、奄美諸島や台湾にそれぞれ別亜種 *shirakii*, *formosana* が分布する(白水 2006; 国立環境研究所 侵入生物データベース)。本種は国内へは意図的な放蝶により導入されたものと考えられており(多紀 2008), 1995年に埼玉県さいたま市、戸田市、朝霞市で採集または目撃され(白水 2006), その後、神奈川県から東京都、埼玉県、千葉県を中心とした南関東に定着した(岩野 2010)。2010年以降、

群馬県、茨城県、栃木県を含む関東全域へと分布を拡大し、近年では静岡県、岐阜県、石川県、山梨県でも目撃情報がある(国立環境研究所 侵入生物データベース)。

第二著者の村上は、大野市大月でアカボシゴマダラの写真を撮影したので、福井県内における本種の初の目撃記録として下記のとおり報告する。

アカボシゴマダラ *Hestina assimilis* (Linnaeus)

福井県大野市大月, 1ex., 31-VII-2024, 村上充伯撮影 (図1)



図1 アカボシゴマダラ。福井県大野市大月, 31-VII-2024, 村上充伯撮影

\* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: sumemura@ma.city.fukui.lg.jp

<sup>1</sup> 福井市自然史博物館 〒918-8006 福井県福井市足羽上町 147

Fukui City Museum of Natural History. Asuwakami-cho 147, Fukui, Fukui 918-8006, Japan.

アカボシゴマダラは、幼虫がエノキ *Celtis sinensis* を食草としており、オオムラサキ *Sasakia charonda* やゴマダラチョウ *H. japonica*, テングチョウ *Libythea lepita* など幼虫がエノキを食草とする在来種と競合する可能性が指摘されている(国立環境研究所 侵入生物データベース)。一方で、アカボシゴマダラはエノキの実生苗木、ひこばえや幼木に好んで産卵することから、幼虫も背の低いエノキの葉を食するのに対し、ゴマダラチョウはエノキの大木に産卵することが多いことから、両種で確実な競合関係は見られないと推察する一方で、アカボシゴマダラとゴマダラチョウもしくはアカボシゴマダラ日本固有亜種との種間交雑のリスクを指摘する報告もある(岩野2010)。いずれにせよ、奄美亜種(*H. assimilis shirakii*)を除くアカボシゴマダラは特定外来生物に指定されており、今後も福井県内における本種の分布情報に注視するとともに、発見された場合には早急に駆除するなどして県内に分布を拡大しないよう対策を講じる必要がある。

本稿の投稿にあたり、様々な便宜を図ってくださった福井県自然保護センターの大宮正太郎氏に深く御礼申し上げます。本稿は、2024年度笹川科学研究助成(交付番号:2024-8009)を受けて行われた研究成果の一部である。

## 引用文献

- 岩野秀俊. 2010. 外来チョウ類の分布拡大と在来生態系へのリスク. 石井 実(監修) 環境Eco選書 1 日本の昆虫の衰亡と保護. 北隆館, 東京. pp.248-258.
- 国立環境研究所. 侵入生物データベース アカボシゴマダラ. <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60400.html> (2024年12月3日閲覧)
- 白水 隆. 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学研教育出版, 東京.
- 多紀保彦(監修)・財団法人自然環境研究センター(編). 日本の外来生物. 平凡社, 東京.